

◆ 議長就任記者会見

日 時：平成26年7月4日（金）

場 所：県議会理事者控室

出席者：山下 力議長、井岡 正徳副議長



山下 力議長

井岡 正徳副議長

<就任にあたって>

○山下議長

先の議長選で凶らずも続投という結果になりました。ここ数年の奈良県議会の議長選挙はちまたの予想通りには運んでおりません。ハプニングの連続でございます。そういうハプニングがなければ、私などが議長をする順番は回ってこないと心得ているところでございます。

しかし、厳然たる議員の投票によって選出されました。残余の10ヵ月間続投せよということでお引き受けし、全力を挙げて任務を遂行していきたい。これまで継続して参りました議会改革の歩みを止めることなく、展開していけたらと思っております。

私自身が今期を最後に引退を決意しておりますので、8期32年の政治生活の全てを投入いたしまして全力を尽くして参りたいと思っております。報道関係の皆さまのご協力をよろしくお願いしたいと思っております。

○井岡副議長

このたび副議長に再任いたしました井岡でございます。誠に身に余る光栄でございます。昨年来、議長、副議長として頑張っていたことを来年4月までさらに続けていきたいと思っております。

議会改革基本条例を制定してちょうどまる4年となります。細かい検証作業を行ってまいりましたけれども、是正もしながら制度を確立したいと思っております。

今後とも報道関係の皆さま方のご支援、ご協力をお願いします。

<質 疑>

記 者；「図らずも」ということでしたが、自由民主党からどういう経緯で山下議長にということになったのでしょうか。

山下議長；自由民主党には適材がたくさんおいでだと思っておりますし、さまざまな活動できる議長経験者もたくさんおられます。人材にこと欠かない自由民主党の中からではなしに、引き続き私山下にということになったのは、自由民主党内部の事情の子細を知っているわけではありませんが、「引き続き山下やれ」となったのだと受け止めております。

記 者；井岡さんが副議長にというのはどういう経緯でしょうか。

山下議長；私も直前にそういう話 came して、びっくりしました。

結局は党内の関係、党内外の協力を加味して今回の議長の投票結果をみていただいたらわかりますけれども、今減員2名ですので、たいへんきびしい役員改選だと思っておりましたが、結果も皆びっくりしている次第です。来年は選挙ですので、選挙区の事情も多々あるような気もいたします。

記 者；自由民主党の中でですか？

井岡副議長；他党との兼ね合いなど、いろいろあります。たまたま、私達は同じ選挙区でございますので、そういう絡みはなかったのです。

山下議長；おそらく県政史上、同じ選挙区から議長、副議長が出ているというのは初めてだと思います。めずらしいです。

記 者；連続というのは今まであったのですか。

山下議長；ありました。10回ほど連続でなされた方もありました。

井岡副議長；自由民主党以外の議員が2年連続というものはじめてです。

今まで川口議員が議長になられて以来です。あの時は1年だけです。

記 者；異例づくしの点もあるのですが、議会運営という点では、この1年間どういことを心がけてとっておられますか。

山下議長；自由民主党と民主党の会派が議会運営の責任を持たせていただいて6年が経過しています。この間の連携が、かなり多くの成果を生んできた。井岡副議長をはじめ若い議員の方々がさまざまに活躍していただきまして議会運営は全国レベルに到達しているのではないかと考えます。

議会改革が遅れていた県議会でもございましたが、この6年間の営みで全国レベルに追いつき、追い越すというところまで来ているのではないかとという自負はあります。

記 者；今後もさらに議会改革を進めていくということですか。

山下議長；歩みは止めたくはないし、次につなげたら良いなと思っております。

井岡副議長；早稲田のマニフェスト研究所や日経グローバルの議会改革度ランキングでも前はかなり下位でしたけれども上位に入っています。情報公開度でもかなりあがっています。特に民主党の若い議員の方々の力を借りています。

記 者；任期は通常1年となっているのですか。

井岡副議長；紳士協定でございます。

